

第2760地区
豊田ロータリークラブ
 『ロータリーに誇りと自信を！魅力あるクラブを目指して』
<http://www.toyotarc.jp>



本日の例会

第2419回
 日時 平成22年3月18日(木) 12:30~13:30
 場所 ホテルトヨタキャッスル
 卓話 的場健人君
 -今週の祝福-
 会員誕生日 3月20日 孕石邦雄君
 ご夫人誕生日 3月24日 三宅金一君ご夫人 眞佐子様
 結婚記念日 3月18日 河原秀紀・郁子 ご夫妻
 3月21日 杉浦秀明・英子 ご夫妻

前回の例会

第2418回
 日時 平成22年3月11日(木) 12:30~13:30
 会場 ホテルトヨタキャッスル
 司会 会場委員会 山内一英君
 斉唱 『手に手つないで』
 来訪者 豊田東RC 鈴木孝治様

会務報告 会長挨拶 梅村正明 副会長



岡田会長の代理挨拶です。私は現在、地区のロータリー財団に向向しております。そこでは海外留学(日本から行かれる方)のお世話をさせていただいております。学友会というメンバーです。来年からは統合されますので形が変わります。今年までは独立した小委員会に向向させていただいております。様々なメンバーがおられ

まして、自分で海外留学がしたい方が応募するわけですが、私が3年間のお世話をしていただんだん減少してきております。今年行かれる方は2名だけです。お金の面ではロータリー財団の奨学金はそんなに悪くはありません。今、予算として持っているのは1人 2,500万円の予定です。およそ邦貨にすると毎月10数万円いただけるということです。「海外の物価事情を考えればいいお金が貰えるのだけだなあとありますが、それで人数が減ってしまうのはなんででしょうか？」と、困った話です。豊田ロータリーからは今年川口さんの留学を推薦させていただきました。

これらに対して修善寺のお話が先ほど出ました。米山梅吉さんからお名前をいただきました米山奨学生へは先日、王琦さんからお別れのご挨拶をいただいたばかりですが、こちらは大変に倍率が高いです。こちらも変わらず毎月10数万円の奨学金を差し上げています。これらも他の制度からみればとてもいい金額です。海外からの希望者の倍率は数十倍と伺っています。これだけ差がつかますと日本の若い人達を心配してしまいます。しかし先日、斎藤 PG がお話になれましたように名古屋みらいロータリークラブなども同じようにご自分たちで帰国後も奉仕活動をなされているようです。非常に心強く思います。申請メンバーがなかなか出来ない様であります、これからはロータリー財団の奨学金制度もだんだん変わるようです。まずは皆さんのお知り合いの中で、私が行ってみたいなという方がおみえでしたら是非財団にお問い合わせをお願いします。これはクラブ推薦がで

きますのでご活用ください。尚、次回以降は指定制度が消えますので自由度が増します。但し、カウンセラーがなくなります。これがややつらいですが、是非ロータリー財団の奨学金の方もお使いになってください。これをPRとし私の挨拶とします。

幹事報告 天野勝美 幹事

■ 例会変更のお知らせはお手元の資料をご確認下さい。

卓話

担当 深津明德 君
 『自己紹介パート2』



本日の卓話をします深津です。どうぞ宜しくお願いします。卓話は3回目になり、自己紹介は既に終わっていますが、自己紹介パート2としてお話をさせていただきます。当初、私の息子3人がバレーボールをしてまして、その関係で実業団の方に、企業スポーツのお話をさせていただく予定でしたが、お仕事の都合で、急遽キャンセルがありまして、他の方を探していましたが、なにぶん時間が無かったので、なかなか見つからず、私の自己紹介パート2となりました。

私が入会させていただいたのは、2004年7月29日でした。早いもので、5年と8ヶ月経ってしまいました。今現在のクラブの会員数は84名ですが、私の入会後に、半数に近い41名の方が入会されていますし、先回の自己紹介を、聞かれて無い方も見えると思いますので、もう一度、内容を変えまして、お話をさせていただきます。

まずは、生い立ちですが、私は昭和38年に、松平村出身の父、凱夫と、挙母町出身の母、幸枝の長男としてこの豊田の地に生まれました。父は松平の鍋田町に本家があります。松平橋を渡り、山手の方へ登って行きますと、昔盛んであったガラ紡の工場を過ぎて、一番山の奥の所です。父は中学校を卒業しますと、大阪に出て魚屋で働いていたそうです。ですから、ボンツクや海釣り等が好きで、魚を捌かせたら大変上手でした。そして豊田に戻り、建設資材の販売店に入り、砂利や砂を運んでいたそうです。朝3時に起きて砂利を天竜川の方へ取りに行き1日中6トン車で何車も運んだそうです。それも、手積み、手降ろしだったそうです。人一倍良く働く人だったと聞いております。母が身体が弱かったので、幼児時期はダンプに私を乗せて、ミルクをやりながら仕事をしていたそうです。昔のダンプは、ブレーキの性能がよくないので、ブレーキを踏む度にシートから落ちたそうです。後に父は「おまえの頭が悪いのはそのせいだ」と言っておりました。そして昭和42年に独立して深津建材を創業しました。本当によく働いたそうです。

私もスポーツをやっていました。中学校に入学するとテニス部に入り頑張りました。勉強は駄目でした。そして名古屋の中京高校(中京大中京高)へ進み、テニス部にスカウトされたのですが、私はやる気が全然なく1週間で辞めました。理由はスカウトされたのなら優遇されると思いきや、皆様も知っていると思いますが、当時中京といえば甲子園の常連でした。校内に野球グラウンド、体育館は4階建てで、その広大な学校の周りを5周も走らされ、先輩の着替えが終わるまで外で待たされたり、着替えが終われば先輩のかばんを持って駅までダッシュと、毎日帰宅が10時30分頃でした。体がもちません。私の青春はこんなものではないとあっさり辞めました。そしてぶらぶらしているクラスメートと、男子校は何かたると言うこと

で、クラブ紹介を見直していると、上級生が2名で活動内容が、他校との交流と書いてある文化部、郵便友の会がありました。そこで女子校ばかり訪問しようと呼び掛けたら、集まるは集まるわ、すぐに10名を超える人数が集まり入り乗っ取り状態になってしまいました。しかしそうは甘くはありません。やはり活動は地味で、文通をしないではいけません。1人減り5人減り最後は私ともう1人になってしまいました。しかしこれが私の人生を決めることに、それは家内との出会いが待っていました。1年生の夏、野球部は甲子園へ、私たちは乗鞍青年の家へと、共に全国大会へ向かいました。そこで家内と出会いました。家内は安く旅行が出来ると言うことで入部したそうです。そして同じ班になり文通をすることになりました。当時から私には文才が無く、手紙を書く事は苦痛でした。しかし高校生活の3年間は家内と300通くらい手紙を交わし、電話で話をしたり、ゆっくりと清らかな愛を育てていきました。その手紙は、家内は隠して置いて、もし何かあれば脅しの道具に使われそうで、いつもいつも心配しております。当然、私の家では圧倒的に家内の方が、立場は有利であると思われ

そんな高校生活も終わり土木の専門学校に進みました。それがまたいけなかったのです。全国より生徒が集まり、酒の強いやつばかりでした。東北、北陸、九州、沖縄と、中でも沖縄の飲み方で、「おとろし」というのがあって、大盃を飲み干さないで次に回せなくなる、それを延延と続けて飲みました。やはり身体がもちません。急性アルコール中毒で救急車に2回お迎えに来て頂きました。そして19歳の冬、とうとうアルコール性肝炎で入院。GTP4047、熱が40度以上が続きまして。あとで先生に言われたのですが「三日以内に死ぬと思っ」と言われました。それから2年間くらいは1滴も飲みませんでした。やはり酒はいけません。

そして社会に出ることになりました。就職先はもちろん(株)深津建材。父いわく「おまえは他所では使いものにならないから、家で使ってやる」の一言で何も言えず入りました。また父の作戦だったのです。20歳で入社、24歳で業務を全て任せられ、26歳で代表権を貰いました。全ての責任を負わされたのです。その時父は不動産の会社を立ち上げ、バブルの絶頂のころでした。情報と紙と鉛筆だけでいくらかでも儲かるが口癖でした。土木なんて儲からん！と言い、私におしつけたのだと思いました。しかし今となってしまえば、父も私もお互い若さとパワーのある時に世代交代が出来たので良かったと思います。その当時の私は勢いが良く、今から思えば恥かしいのですが、世話になる気のない人には頭を下げる必要がないなどと思い違いをしていました。そんな私が今こうして皆様方と共にさせて頂けるようになった1番のきっかけが、仕事を頂いている会社の専務さんに進められた青年会議所でした。クラブのメンバーの方の中にも、沢山の先輩方がおみえです。父は反対だったのですが、その専務さんが、これからの私にきつと為になる、ということと、熱意ある説得に父が負け入会となりました。足掛け10年間活動させて頂きました。その間に色々なことを勉強させて頂きました。

素晴らしい先輩方ばかりですが、その中で、今の私に影響したお話を少しさせていただきます。まず最初は、入会審査中の準会員のときの盛岡の全国大会でのアワードセレモニーの司会をされた、鈴木元弘さんです。3000名以上の同じ世代の会員の前で、凛とし、堂々とした姿を見まして、とても感動しました。当時は、審査に通らず。早くやめようかなと、だらだら、参加していた私でしたが、「かっけーじゃん」と思い少し前向きに考えるようになりました。選挙の話。次は、2年目のときですが、創立35周年の時の理事長をされました、鈴木秀和さんです。私は、会員を募集する委員会に配属されまして、苦戦をしていました、締め切りぎりぎりの時の会議で、無理をして入れても本人の為にならない。委員会の努力は、十分、感じられた。お疲れ様、ありがとう。そこで、またまた、「かっけーじゃん」と、思いました。また少しやる気が出てきました。そして、入会4年目にまたまた会員の募集をする委員会の委員長をされた、鈴木賢三さんです。本当におおらかな方で、人に癒やしといえますか、周りを和ませる方で、当時とがっていた私の角を一ずつ、丸めて頂いたように思います。いろんな意味で、輝いて見えました。またまた、「かっけーじゃん」と、思いました。いろんな先輩やメンバーに育てられての活動は、社会貢献へのやりがいや達成感を得た素

晴らしいものでした。ぜひ皆さんの会社、取引関係の会社で、20歳から40歳までで会社の担い手として有望の方が居ましたら、こんな私でも社会貢献への関心がもてたり、奉仕の理想へ近づくと出来ると思っています。入会を薦めてください。ちょうど今、会員の募集の真っ最中ですので、私で構いませんので、一報ください。ご紹介いたします。

今日お配りした資料は、私の息子が、バレーボール雑誌に載ったときのものです。3人揃って、同じ東海大学で、ユニホームを着ています。昨年末に全国優勝をしました。バレー界の奇跡とも言われています。春から、長男は、実業団のJTに決まり、次男・三男は、レギュラーとして、頑張ってくれますと思います。楽しみにしています。皆さん、応援宜しくお願いします。この話を、もっとしたいのですが、時間が無いのでこのくらいで、

最後に、私の父は酒好き、夜釣り好きで62歳で脳梗塞になり、高度機能障害で車椅子生活を送り、一昨年の11月に67歳で、世界しました。皆様もくれぐれも健康に気を付けて頂きたいと思っています。

それで健康へ秘訣 それは、先回の卓話でも言いましたが、「酒も 女も 2ごうまで！」
 ご清聴に感謝します。ありがとう御座いました。

ニコボックス



本日の当番 北川尚子君

●鈴木元弘君

ニコの北川さんには大変お世話になっており、ありがとうございます。新政権になって色々やこしくなったようですね。本日の卓話当番深津君の話を楽しみにしておりますが、チェックも致しますのでよろしく。

●下地正孝君

深津先輩にはお世話になっております。深津さんとの出会いから、JCそしてロータリーと素晴らしい出会いが始まりました。本当にありがとうございます。ニコの北川さんは同期の桜、これからも頑張りましょうね！

●佐藤博文君

東海東京証券のアドバイザーを弊社豊田通商の会長古川がさせて頂きお世話になっております。唯一の女性メンバーですので、ダイバーシティのイミでもとつても貴重なメンバー。皆様大事にいたしましょう。

●鈴木賢三君

卓話の深津様には、公私共にお世話になっております。息子さんのJTでのご活躍を楽しみにしています。

●友情投金

井戸雅裕	加藤直樹	深津明德	篠田 徹	杉浦 毅
鈴木秀和	永田一夫	山田康二	白木 隆	米山和浩
山内一英	浅井昭夫	片田直幸	赤松 明	清水伸吉
宮戸優治郎	光岡主税	梅村正明	中根富夫	市川善英
孕石邦雄	梅村泰弘	鈴木万衛	三宅英臣	坪井敦也
酒井法丈	斎藤直美	後藤尚之	山田郁雄	磯島吉晴
光岡新吾	永井英雄	小野雅道	稲垣利彦	河合弘義
窪田泰和	河木照雄	渡邊寿也	奥田清仁	村上雅則

●北川尚子君

初めてのニコ当番で何も分からない中、皆様のご協力で無事終わることができました。ありがとうございました。

出席状況

出席委員会 宮戸優治郎 君

例会日	会員数	対象会員	欠席者	出欠会員	出席率
3/11	84名	72名	18名	4名出	78.57%

先々週(2/25)の修正出席率 ... 98.73%

次回の例会

第2420回
 日時 22年3月25日(木) 12:30~13:30
 場所 ホテルトヨタキャッスル
 卓話 斎藤直美君



豊田ロータリークラブ
 〒471-0034 豊田市小坂本町1-4-12
 Tel 0565-32-5555 Fax 0565-32-5559
 E-mail:office@toyotarc.jp HP: http://www.toyotarc.jp

会報委員会:小野雅道 山田郁雄 北川尚子 下地正孝 鈴木賢三 太田雄介